

# 令和3年度「明るい家庭づくり道民運動」推進状況 調査結果

公益財団法人北海道青少年育成協会

## 調査の目的

青少年の健全育成には、子どもを健やかに育てる場としての家庭の役割が重要であることから、平成12年度に「道民家庭の日」（毎月第3日曜日）を制定するなどして、「明るい家庭づくり道民運動」を推進している。その運動の推進状況を把握するため、全道市町村を対象に定期的（3年毎）に調査を行う。

## 調査の時期

令和3年7月～8月

## 調査対象及び回答状況

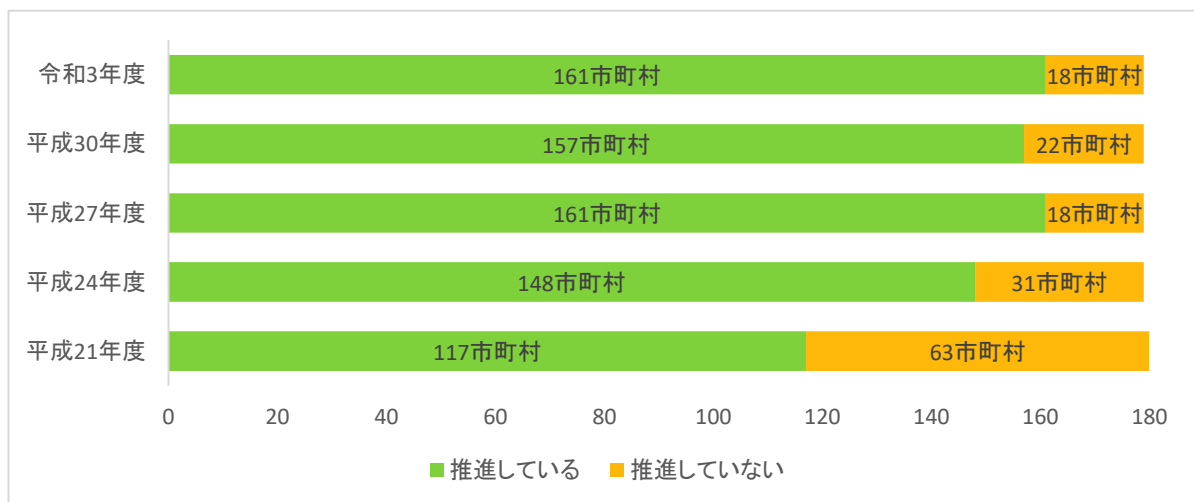
道内全市町村（179市町村 / 回答率：100%）

## 調査結果

### 一運動の推進状況一

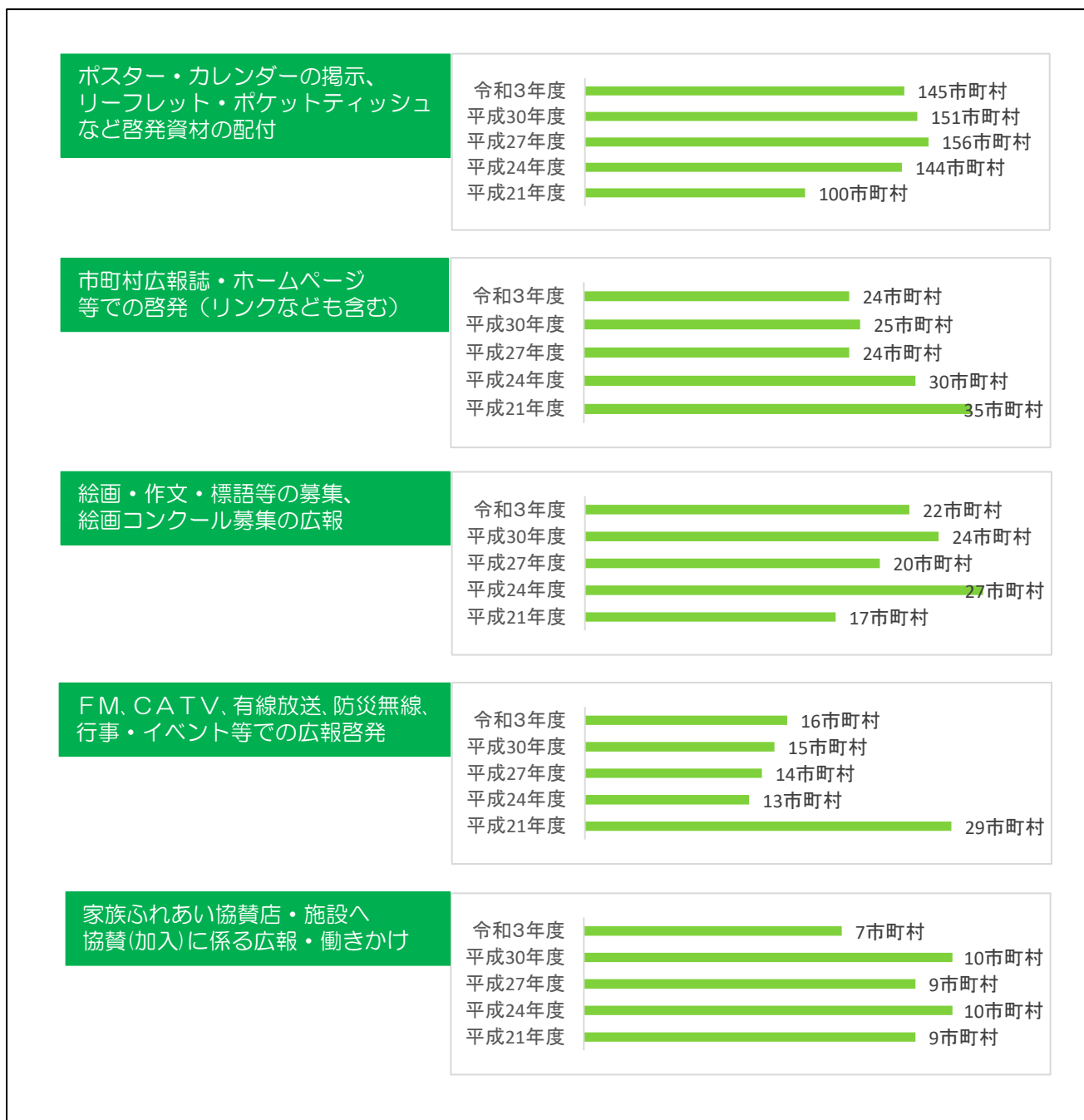
「運動を推進している」と回答のあった市町村は **161市町村**で、平成30年度より若干増加している。また、「推進していない」と回答のあった18市町村中、**11市町村が今後推進したい**と回答している。

区分	平成21年度 市町村数(%)	平成24年度 市町村数(%)	平成27年度 市町村数(%)	平成30年度 市町村数(%)	令和3年度 市町村数(%)
推進している	117 (65)	148 (83)	161 (90)	157 (88)	161 (90)
推進していない	63 (35)	31 (17)	18 (10)	22 (12)	18 (10)
計	180(100)	179(100)	179(100)	179(100)	179(100)



## —取組内容—

内容別にみると、ポスターの掲示や啓発資材の配付を行っている市町村が最も多いが、広報誌等での啓発や、絵画や標語等の募集を通じた啓発に取り組む市町村も見受けられる。



## —「道民家庭の日」普及啓発のためのアイデア・ご意見など—

- テレビCMを利用した広域・長期の啓発による意識の浸透が望ましい。
- 「道民家庭の日」という名称から事業内容が想像しにくく、どんなことに取り組めばよいかわからない。
- 協力団体にテレビ局や新聞社があるが「道民家庭の日」を見たことがない。「北海道みんなの日」など、似たような名称の日、〇〇の日も沢山あり、認知されにくいので根気強い周知が必要。
- 協賛店への要請は、具体的なメリットを示せなく難しい。道から働きかけてほしい。